

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和元年10月2日

①学校名:	秋田大学 大学院(国立)	②所在地:	秋田県秋田市手形学園町1番1号		
③課程名:	あきたサステナビリティスクール	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	令和2年4月1日
⑥責任者:	理工学研究科長 山村明弘	⑦定員:	10人	⑧期間:	8カ月
⑨申請する課程の目的・概要:	風力や地熱などの再生可能エネルギー源が豊富であり、鉱工業が盛んであった歴史をもつ秋田県において、持続的な開発目標(SDGs)の達成に必要な再生可能エネルギー利用と環境・資源リサイクルの基礎理論と応用技術などを修得させることで、秋田県の産業振興・環境教育など地域活性化に寄与できる人材の育成を目指す。				
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生(地域活性化)	⑪履修資格:	大学を卒業した者、または大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者		
⑫対象とする職業の種類:	企業の開発・製造技術者、地方公共団体で産業振興・環境政策に関する業務に従事する者、教育関係者				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・再生可能エネルギーに関する基礎理論と利用に関する知識と技術 ・環境・資源リサイクルに関する基礎理論と応用に関する知識と技術		(得られる能力) ・秋田県内における課題を理解し、具体的な解決方法を提案できる能力		
⑭教育課程:	「新エネルギー利用論Ⅰ・Ⅱ」と「資源リサイクル論」により再生可能エネルギーの基礎理論とその利用技術および、環境・資源リサイクルの基礎理論と応用に関する知識と技術を修得するとともに、県内事業者、自治体関係者等による講義で秋田県における実情を理解する。さらに、フィールド研修と課題研究における実地研修とグループ討論により再生可能エネルギー利用と環境・資源リサイクルに関し秋田県における課題を明らかにする。その過程で秋田県の課題に対して具体的な解決方法を提案できる能力を修得させる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	60時間以上の履修及び成績による審査の合格				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書				
⑰総授業時数:	77 時間	⑱要件該当授業時数:	41.5時間	該当要件	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数: 54%
⑳成績評価の方法:	出席状況、レポートの成績、課題研究における取組やプレゼンテーションの内容を総合的に判断する。				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。担当教員及び連携している秋田県の代表者等(学外者)より構成される「あきたサステナビリティスクール運営・評価委員会」において、本教育プログラムの成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、インタビューやアンケートを実施し、その結果を「あきたサステナビリティスクール運営・評価委員会」において分析することにより効果を検証する。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 担当教員及び連携している秋田県の代表者等(学外者)より構成される「あきたサステナビリティスクール運営・評価委員会」(会議)において、自己点検・評価結果よりカリキュラムの改訂・成績評価方法の改善などを議論することにより教育課程の編成に企業等の意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 担当教員及び連携している秋田県の代表者等より組織する「あきたサステナビリティスクール運営・評価委員会」(会議)において、受講者及び修了者に対するアンケートやインタビュー等より意見・要望を聴取することで自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	講義はすべてオンライン(オンデマンド、一部ライブ配信)で実施する。				
㉕ホームページ:	(URL) <a href="https://www.sustainability.riko.akita-u.ac.jp/">https://www.sustainability.riko.akita-u.ac.jp/</a>				